

# 隅 藏 康 一 教 授

Academic Year 2017 (2017.4.1~2018.3.31)

専門分野：知的財産政策、科学技術イノベーション政策

学 位：博士（工学）、東京大学

略 歴：1993年 東京大学理学部卒

1995年 同大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了

1995年 同大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程進学

1998年 博士（工学）学位取得、同年東京大学先端科学技術研究センター客員助手

1999年 同センター助手

2001年 本学助教授

2007年 本学准教授

2012年 6月より文部科学省科学技術政策研究所（2013年7月より文部科学省科学技術・学術政策研究所に名称変更）第2研究グループ総括主任研究官、本学連携准教授

2014年 6月より本学准教授、文部科学省科学技術・学術政策研究所第2研究グループ客員総括主任研究官（2015年6月まで）

2016年 本学教授

## 1. 業 績 (A)

### (1) 学会発表

- \* 齋藤裕美・隅藏康一「産業に対する基礎研究のインパクト：企業の研究開発担当者に対するアンケート調査に基づく実証分析」日本機械学会 2017年次学術大会, 埼玉大学, 2017年9月4日（口頭発表は隅藏による）
- \* 隅藏康一・菅井内音・牧兼充「サンディエゴ地域におけるスター・サイエンティストと企業との関わり」第32回研究・イノベーション学会年次学術大会, 京都大学, 2017年10月29日（口頭発表は隅藏による）
- \* 高橋真木子・古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一「大学における研究支援人材の概況：産学官連携コーディネータとURAを中心に」第32回研究・イノベーション学会年次学術大会, 京都大学, 2017年10月29日（口頭発表は高橋による）
- \* 隅藏康一・菅井内音・牧兼充「特許データから見た地域内外の人材移動：San Diegoのケース」第15回日本知財学会年次学術研究発表会, 国士舘大学, 2017年12月3日（口頭発表は隅藏による）
- \* 古澤陽子・枝村一磨・高橋真木子・隅藏康一「大学における研究支援人材が産学連携に与える影響」第15回日本知財学会年次学術研究発表会, 国士舘大学, 2017年12月2日（口頭発表は古澤による）

### (2) その他

- \* 企画・司会：日本機械学会 2017年次学術大会, 法工学専門会議企画ワークショップ「医療機器の安全性の法工学」, 埼玉大学, 2017年9月4日
- \* Sumikura, K., Saito, H., Sugai, N. and Maki, K. “Function of academic knowledge in innovation,” Star Scientists and Knowledge Transfer between Academia and Industry: Towards Promotion of Innovation, GRIPS, Tokyo, 2017年9月11日。（口頭発表は隅藏による）

- \* 座長：日本知財学会第 15 回年次学術大会，知財に関する国際問題セッション，2017 年 12 月 2 日
- \* Koichi Sumikura, Naito Sugai, Yuta Fukudome and Kanetaka Maki “Comparison of the star scientists in US and Japan: Univ. of Tokyo and UCSD,” UCLA – Star Scientists and Innovation in Japan Workshop, UCLA, 2018 年 3 月 8 日（口頭発表は隅藏による）

## 2. 業績（B）

### （1）書評・解説等

- \* 隅藏康一「技術と法律についての雑感」, Smips 技術と法律プロジェクト編『技術と法律』（株式会社インプレス R&D）, 30-33 頁（2018 年 1 月初版発行）
- \* 隅藏康一「祝・関西支部設立 30 周年」, 『研究・イノベーション学会関西支部 設立 30 周年記念誌』, p.11（2017 年 10 月刊行）
- \* 隅藏康一・荒木勉・大上浩・近藤恵嗣「法工学専門会議」, 『日本機械学会 最近 10 年のあゆみ』, CD-ROM 中 7 頁（2017 年 11 月刊行）

### （2）その他

- \* 齋藤裕美・隅藏康一「産業に対する基礎研究のインパクト：企業の研究開発担当者に対するアンケート調査に基づく実証分析」, 『日本機械学会 2017 年度年次大会講演論文集』, CD-ROM 中 5 頁（2017 年）
- \* 隅藏康一・菅井内音・牧兼充「サンディエゴ地域におけるスター・サイエンティストと企業との関わり」, 『研究・イノベーション学会年次学術大会要旨集』 33 巻, 562–567 頁（2017 年）
- \* 高橋真木子・古澤陽子・枝村一磨・隅藏康一「大学における研究支援人材の概況：産学官連携コーディネータと URA を中心に」, 『研究・イノベーション学会年次学術大会要旨集』 32 巻, 588–591 頁（2017 年）
- \* 隅藏康一・菅井内音・牧兼充「特許データから見た地域内外の人材移動：San Diego のケース」, 『日本知財学会第 15 回年次学術研究発表会要旨集』, CD-ROM 中 4 頁（2017 年）
- \* 古澤陽子・枝村一磨・高橋真木子・隅藏康一「大学における研究支援人材が産学連携に与える影響」, 『日本知財学会第 15 回年次学術研究発表会要旨集』, CD-ROM 中 4 頁（2017 年）

## 3. 助成金等による研究

### （1）科研費による研究

- \* 科研費（基盤研究 B：15H03377）「学術的知識の導入が企業におけるイノベーション創出に及ぼす影響」（2015–2017 年度）研究代表者
- \* 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）NEDO プロジェクトの効果測定及びマネジメントに関する研究（平成 28 年度募集）「企業間連携及び産学連携を効果的に実施するための方策に関する研究」研究代表者 ※助成金ではなくデータの提供を受ける公募事業

### （2）受託研究、共同研究、奨学寄附金、その他補助金等の外部資金による研究

- \* JST-RISTEX 政策のための科学 スター・サイエンティストと日本のイノベーション

研究副代表

#### 4. 教育

(1) 講義

- \* Policy for Higher Education and University-Industry Cooperation (Fall)

(2) 論文指導

- \* 科学技術イノベーション政策プログラム (修士) : 修士課程 1 名 (主指導) ※学位取得
- \* 科学技術イノベーション政策プログラム (博士) : 博士課程 5 名 (主指導 4 名、副指導 1 名)

(3) 研修事業

- \* NDC : 2 ヶ月研修

#### 5. 管理・運営への関与

(1) 委員会

- \* 科学技術イノベーション政策プログラム (修・博)・コミティー
- \* 図書館運営委員会
- \* 不正防止計画推進室

(2) タスクフォース

- \* 「政策研究と政策形成のためのエビデンス情報拠点の構築」の検討 メンバー

(3) その他

- \* 政策研究センターリサーチプロジェクト:大学の専門スタッフが外部資金獲得や産学連携活動に及ぼす効果に関する研究プロジェクト 研究代表者
- \* 政策研究センター長期学術会議支援事業:産学連携人材の育成に関する研究会 代表者
- \* The 85th GIST Seminar "Star Scientists: their Roles in Knowledge Transfer and Entrepreneurship," (2017年9月11日) Moderator
- \* 政策研究センター短期学術会議支援事業:日米のスター・サイエンティスト研究に関する国際カンファレンスにおける, 国際カンファレンス「スター・サイエンティストと産学間の知識移転:イノベーション促進に向けて」(2017年9月11日) 企画者, 司会
- \* 政策研究センター短期学術会議支援事業:日米のスター・サイエンティスト研究に関する国際カンファレンスにおける, Semi-closed Meeting “GRIPS-UCLA Dialogue for Evidence-based STI Policy” (2017年9月12日) 企画者
- \* 平成 29 年度科学技術基礎調査等委託事業「エビデンスに基づく政策立案機能の方式検証」 業務責任者
- \* SciREX センター SciREX コアカリキュラム編集委員会 委員
- \* 大学ベンチマークセミナー (2018年3月27日-28日) オブザーバー
- \* 図書選定 (総合政策グループ)

#### 6. 社会的貢献 (A)

(1) 国および地方公共団体等における活動

- \* 衆議院経済産業調査室 客員調査員
- \* 農林水産技術会議 平成 29 年度委託プロジェクト研究「ゲノム情報を活用した農産物

- の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト」運営委員会 委員
- \* 裁判所 専門委員（東京高等裁判所、東京地方裁判所、大阪地方裁判所所属）
- (2) 他大学・研究所等における活動
- ① 非常勤講師
    - \* 東京大学大学院 総合文化研究科 統合自然科学科「知財・技術経営論」(2単位)
    - \* 早稲田大学大学院 理工学術院「知的所有権特論」(1単位)
    - \* 東京大学 ライフイノベーションリーディング大学院 “Life Innovation Leadership Development” の一部として“Research Ethics, Laboratory Management and Intellectual Property” の講義を実施 (90分1コマ)
    - \* 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 「現代知的財産制度特論」の一部として「バイオテクノロジーと特許の課題」の講義を実施 (90分1コマ)
  - ② 委員会等
    - \* 東京大学医科学研究所 オーダーメイド医療の実現プログラム ELSI 検討委員会 委員
  - ③ その他
    - \* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ 客員研究官
    - \* 文部科学省 科学技術・学術政策研究所・科学技術動向調査センター 専門調査員
    - \* 早稲田大学 ビジネス・ファイナンス研究センター 招聘研究員
    - \* 慶應義塾大学 リーディング大学院プログラム「2017年度政策提言公聴会」(2018年2月26日) コメンテーター
- (3) 企業、財団法人等における活動
- ① 役員、委員会
    - \* 一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産教育協会 知的財産管理技能検定 技能検定委員
    - \* 認定特定非営利活動法人健康と病いの語りディペックス・ジャパン 倫理委員会 委員
    - \* 医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) 相談役
    - \* 公益財団法人東京都中小企業振興公社 東京都知的財産総合センター グローバルニッチトップ助成事業 審査委員
    - \* 特定非営利活動法人 HAB 研究機構 「ヒト組織と研究倫理」検討委員会 委員
    - \* 公益財団法人未来工学研究所 評議員
  - ② その他
    - \* 特定非営利活動法人 21世紀構想研究会 メンバー (知的財産委員会 委員)
- (4) 学会等における活動
- \* 研究・イノベーション学会 事務局担当理事
  - \* 日本知財学会 学会誌 企画委員長；知財学ゼミナール分科会 幹事
  - \* 日本機械学会 法工学専門会議 運営委員
  - \* *Asian Research Policy*, Editorial Board Member

## 7. 社会的貢献 (B)

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
- ① 印刷メディア (新聞, 雑誌等)
    - \* 日本経済新聞 2017年12月12日朝刊 42面「国立大学の特許出願減」にてコメント。

② 電波メディア（テレビ，ラジオ等）

- \* 放送大学（ラジオ）にて、「ライフ・イノベーションからの利益の帰属と倫理」の特別講義（40分程度の単発講義）（2017年度より放送）。

(2) 講演会，座談会，会議出席

- \* 講演：「Responsible Life Innovation～生命科学に基づく責任あるイノベーションを目指して」，ナレッジプール講演会，2017年4月25日
- \* 講演：「オープニング・トーク 技術と法律」，第189回知的財産マネジメント研究会全体セッション，2017年7月9日
- \* 報告：「2025年～2030年を見据えた「知財ビジョン」の検討にあたって」，内閣府知的財産戦略推進事務局，2017年8月8日
- \* 講演：「バイオセキュリティ・セーフティに関する標準化・規格化に向けて」，「ゲノム合成時代の到来とバイオセキュリティ・セーフティ」セッション，「細胞を創る」研究会10.0，京都，2017年10月19日
- \* 講演：「スター・サイエンティストに関する報告：イントロダクション」，21世紀構想研究会知財委員会，2017年12月20日
- \* 講演：「スター・サイエンティストと日本のイノベーション」，SciREXセミナー，2018年1月10日
- \* 講演：「サンディエゴにおけるスター・サイエンティスト」，JST-RISTEX「スター・サイエンティストと日本のイノベーション」ワークショップ，Tanabe Research Lab, San Diego, 2018年3月9日
- \* 総合オーガナイザーとして主宰：知的財産マネジメント研究会（Smips），2017年4月15日，5月13日，6月10日，7月8日，10月14日，11月11日，12月9日，2018年1月13日